Technics®

取扱説明書

ネットワーク CD レシーバー

SA-C600

音楽は、国を越えて、世代を越えて、
人の心を揺さぶり続けます。
そして時代はいつも、
新しい感動を求めています。
まだ経験したことのない音との出会い。
音楽を愛するすべての人に、
再び心ふるわせる喜びを。

Rediscover Music / Technics

最高水準の感動を、
世界へお届けします。

Technics は、音と人との関係を大切に思い、
音楽を愛するすべての人に音楽の感動を提供し続け、
世界中の音楽文化の発展に貢献したいと考えています。
これが私たちの掲げたフィロソフィーです。
音をめぐる数々の出会いと経験が凝縮された今ここに、
Technics の理想をめざす、という確信が生まれました。
すべてにおいて最高クラスの品格と完成度をめざし、
世界中の人々から、憧れを抱いていただける、
幸せを感じていただけるブランドでありたいと願っています。

チーフサウンドマイスター
小川理子

Michiko Ogawa

このたびは、テクニクス製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（05 ～ 07 ページ）を必ずお読みください。
- 保証書（別添付）は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

■本書内の表現について

- 参照していただくページを（⇒ ○○）で示しています。
- イラストや画面表示が実物と多少異なる場合がありますが、ご了承ください。
- 本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。

もくじ

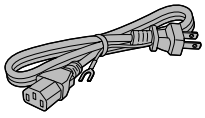
安全上のご注意（必ずお守りください）	05
取り扱いについて	08
各部の名前と働き	09
接続する	12
ネットワークに接続する	13
CD の音楽を再生する	16
ラジオを聴く	17
Bluetooth® 機器の音楽を再生する	18
無線機能使用上のお願い	19
著作権について	20
仕様	21
保証とアフターサービス	23

さらに詳しい使い方を知りたいときは、「取扱説明書　活用ガイド」（PDF 形式）をお読みください

- 「取扱説明書　活用ガイド」（PDF 形式）は、Web サイトからダウンロードできます。
  jp.technics.com/support/downloads/oi/SA-C600.html
- 「取扱説明書　活用ガイド」（PDF 形式）を閲覧・印刷するためには、Adobe Reader が必要です。Adobe Reader は、下記のサイトからダウンロードできます。
  （2021 年 10 月現在）
  http://get.adobe.com/jp/reader/

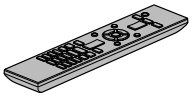
付属品

電源コード（1 本）
K2CF3YY00024



FM 簡易型アンテナ（1 本）
RSAX0002

リモコン（1 個）
N2QAYA000230



リモコン用乾電池
（単 4 形、2 個）

- 付属品の品番は 2026 年 1 月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。
  また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 本機を廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイトでお買い求めいただけるものもあります。
詳しくはパナソニックの家電製品直販サイトをご覧ください。

パナソニックグループのショッピングサイト
https://ec-plus.panasonic.jp/

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠	**警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠	**注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

🛇	してはいけない内容です。	❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

電源プラグを抜く

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源プラグを抜く
- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **電源プラグが異常に熱い**
- **本体に変形や破損した部分がある**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。
- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。
- 電源プラグがすぐ抜けるよう、本機は電源コンセントに容易に手が届く位置に設置してください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない
（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。
- 抜くときは、プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因にもなります。

アース端子を電源コンセントに差し込まない

火災・感電の原因になります。

アース線の接続、取り外しは、電源プラグをコンセントに接続している状態では行わない

感電の原因になります。
- アース線の接続は、電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。
- アース線の取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

電池は誤った使いかたをしない
- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体の中へ入れたりしない**
- **⊕ と ⊖ を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕ と ⊖ を逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**
- **火のそばや炎天下など高温の場所で使用・放置しない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない
- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

電池は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。

⚠ 警告

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 油煙や湯気、水しぶきの当たるところ、湿気やほこりの多いところで使用しないでください。
- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

本機を天井から吊り下げたり、壁に掛けたりしない

落ちてけがの原因となることがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで本機を使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 15 cm 以内で本機を使用しない

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない

本機からの電波が医療用機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

本機を操作ができない乳幼児や身体の不自由な方・高齢者が在室している場合は、遠隔操作は利用しない

けが・事故の原因になります。

分解禁止

分解、改造をしない

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

アースは確実に行う

本機の電源プラグはアース付き 3 芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に行ってご使用ください。感電の原因になります。

- アース工事は専門業者にご依頼ください。

宅外からの操作時には、本機やその周辺、在室する人など、事前に安全を十分確認する

けが・事故の原因になります。

遠隔操作ができなくても、人や財産に悪影響がでないことを事前に確認する

運転や停止ができず、けがや事故、動植物に悪影響を及ぼす原因になります。

ネットワークやインターネットの通信環境や使用状況、ネットワーク障害などにより、遠隔操作が利用できない場合がある

運転や停止ができず、けがや事故、動植物に悪影響を及ぼす原因になります。

⚠ 注意

不安定な場所に置かない

高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

本体のトップカバーをつかんで持ち上げたり、運んだりしない

落下すると、けがの原因になることがあります。

- また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

- また、重量で外装ケースやトップカバーが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災や誤動作の原因になることがあります。

- 本機は、本棚やラックの中など狭い空間に設置しないでください。
- 本機を新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで覆って放熱を妨げないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

磁気の影響を受けやすいものを近づけない

トップカバーおよび CD トレイ部には強力なマグネットを使用しています。キャッシュカードや定期券、時計などが正しく動かなくなることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

虫眼鏡などの光学的手段を用いて、本体の CD レンズ部のレーザー光を観察しない

目に悪影響を及ぼす可能性があります。

本機の上に火のついたロウソクのような裸火を置かない

接触禁止

雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

感電の原因になります。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

ヘッドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

電源プラグを抜く

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクや USB デバイスは保護のため取り出し、または取り外しておいてください。

指はさみ注意

トップカバーに指をはさまれないように注意する

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

愛情点検	長年ご使用のネットワーク CD レシーバーの点検を！				
	こんな症状はありませんか	• 煙が出たり、異常なにおいや音がする • 音声が出ないことがある • 内部に水や異物が入った • 本体に変形や破損した部分がある • その他、異常や故障がある	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

本機の設置

- 本機を移動させるときは、CD を取り出し、接続している機器をすべて取り外して電源を切って移動してください。また、引きずらず、持ち上げて移動してください。
- 熱源となるものの上に設置しないでください。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しないでください。
- 「つゆつき」が起こりにくい場所に設置してください。
- 不安定な場所に設置しないでください。
- ものを上に載せないでください。
- 本棚の中など狭い空間に設置しないでください。
- タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。
- 本機は、温帯気候での使用を意図しています。

つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「 つゆつき 」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
  - 急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど）
  - 湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
  - 梅雨の時期
- 「 つゆつき 」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約 2 ～ 3 時間）、電源を切ったまま放置してください。

お手入れ

- 電源プラグをコンセントから抜き、柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、柔らかい布で軽くふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学雑巾は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

専用アプリ「Technics Audio Center」を使う

- お使いのスマートフォンやタブレットに専用アプリ「Technics Audio Center」(無料)をインストールすると、ネットワーク接続している機器にある音楽を本機で再生したり、インターネットに接続して、音楽ストリーミングサービスを利用し本機で再生することができます。
- 詳しくは下記をご覧ください。
  jp.technics.com/support/
- 本アプリは予告をしたうえで変更・停止する場合があります。

廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する情報が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、お買い上げ時の設定に戻して、記録された情報を必ず消去してください。

① [SETUP] を押す

② [▲][▼] を押して「Initialization」を選び、[OK] を押す

③ [▲][▼] を押して「Yes」を選び、[OK] を押す
- 確認画面が表示されます。次の手順で「Yes」を選ぶと、リモコンモードなどのすべての設定が、お買い上げ時の設定に戻ります。

④ [▲][▼] を押して「Yes」を選び、[OK] を押す
- アカウントの不正利用を防ぐために、本機を廃棄または第 3 者へ譲渡するときは必ず音楽ストリーミングサービスのアカウントをログアウトしてください。
- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

ソフトウェアの利用に関し順守すべき事項について

本製品および本アプリをご利用いただくお客様に対し、当社は以下の内容に関わる注意事項をサイトで公開・周知しています。

- 本製品に内蔵のソフトウェアの更新
- アプリなどを通じて当社が提供するサービス
- パーソナルデータの収集・利用・第三者への提供
- 当社以外の第三者が運営するサービス
- ソフトウェアライセンスの表示
- 当社以外の第三者と連携する本製品の機能およびサービス

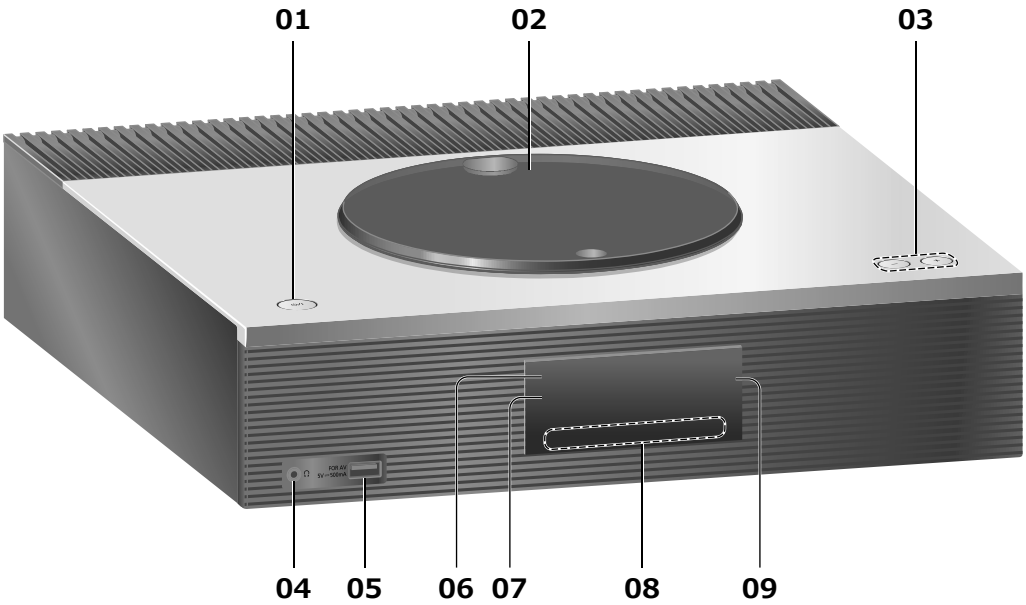
詳しくは下記のサイトをご覧ください。
jp.technics.com/support/

すべての音楽ストリーミングサービスが利用できるわけではありません。音楽ストリーミングサービスを利用する場合は、登録 / 定期購入が必要になったり、使用料金が発生する場合があります。また、提供サービスは予告なく変更・停止する場合があります。
詳しくは各音楽ストリーミングサービスのホームページをご覧ください。

廃棄 / 譲渡するときのお願い
アカウントの不正利用を防ぐために、本機を廃棄または第 3 者へ譲渡するときは必ず音楽ストリーミングサービスのアカウントをログアウトしてください。

「JIS C 61000-3-2 適合品」
JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性ー第 3-2 部：限度値ー高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20 A 以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

本体前面 / 上部



01 電源スイッチ ⏻/I

- 本機の状態（電源入 / 切）を切り換えます。

02 トップカバー

（⇒ 16）

- 閉まっている状態は、磁石によって固定されています。
- トップカバーは強い力で開閉しないでください。故障の原因になります。
- トップカバーを開けたまま長時間放置しないでください。CD レンズの汚れの原因になります。

03 音量スイッチ

- 音量の範囲：0（最小）～ 100（最大）

04 ヘッドホン端子

- ヘッドホンを接続している場合、スピーカー出力端子およびサブウーハー出力端子から音声は出力しません。

05 USB 端子（USB-A）（AV 用）（音声入力、DC 5 V ⎓ 500 mA）

- USB デバイスを本機に接続して、USB デバイスに保存している音楽を再生することができます。
- すべての USB デバイスとの接続を保証するわけではありません。詳しくは「取扱説明書　活用ガイド」（PDF 形式）をお読みください。
  jp.technics.com/support/

06 電源インジケーター

- 電源「入」時は、青色に点灯します。
- スタンバイ時は、赤色に点灯します。
- 電源「切」時は、消灯します。

07 リモコン受信部

- 受信範囲：
  正面…約 7 m 以内、左右…各約 30°
- 受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。

08 タッチスイッチ

- [SELECT]：
  本機の入力ソースを選ぶ
- [⏮][⏭][■][▶/❚❚]：再生操作ボタン（例：CD 再生時）

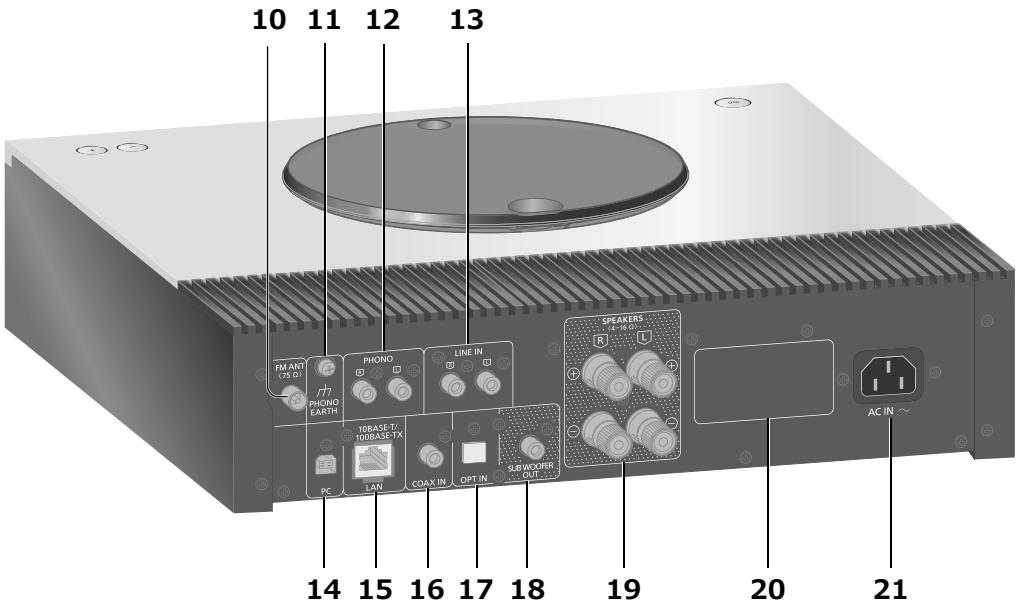
停止	[■]
一時停止	[▶/❚❚] • 再開するには [▶/❚❚] を押す
曲を飛ばす（スキップ）	[⏮][⏭]
早送り・早戻し（サーチ）	[⏮][⏭] を押したままにする

- タッチスイッチを押すと操作音が鳴ります。

09 表示窓

- 入力ソース、時計や再生情報などを表示します。

本体背面



10 FM アンテナ端子
（⇒ 17）

11 PHONO EARTH 端子
- レコードプレーヤーのアース線を接続します。

12 アナログ音声入力端子（PHONO）

13 アナログ音声入力端子（LINE）

14 USB-B 端子（PC）
- パソコンなどを本機に接続して、機器の音楽を再生することができます。

15 LAN 端子
（⇒ 14）

16 同軸デジタル入力端子（COAX）

17 光デジタル入力端子
- DVD プレーヤー機器などを光デジタルケーブル（市販品）で本機に接続して、機器の音楽を再生することができます。
- 本機のデジタル音声入力は、以下のリニア PCM 信号のみに対応しています。詳しくは接続機器の取扱説明書をご確認ください。
  - サンプリング周波数：
    32、44.1、48、88.2、96 kHz
  - 量子化ビット数：
    16、24 bit

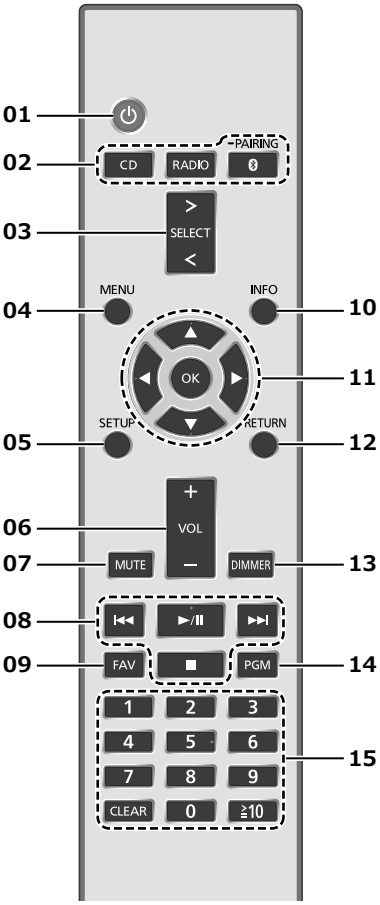
18 サブウーハー出力端子

19 スピーカー出力端子
（⇒ 12）

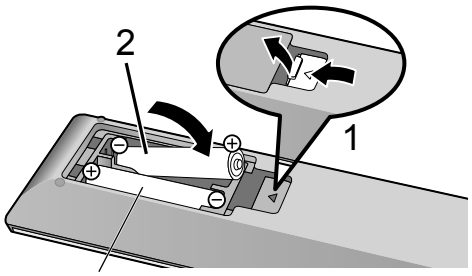
20 定格銘板
- 製品品番は定格銘板内に記載されています。

21 AC IN 端子（〜）
（⇒ 13）

リモコン



■リモコンの電池の入れかた



単 4 形乾電池（付属）

お知らせ

- ⊕ ⊖ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。
- 本体のリモコン受信部（⇒ 09）に、まっすぐに向けて操作してください。
- 不要になった電池を捨てるときは、地域条例に従って処理してください。
  ショートによる液もれ・発熱・破裂の原因になりますので、端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。

01 [⏻] : 本機の状態（電源入 / 切）を切り換える

02 [CD] [RADIO] [ᛒ -PAIRING] : 本機の入力ソースを選ぶ

（⇒ 16、17、18）

03 [>SELECT<] : 本機の入力ソースを切り換える

- 押すたびに切り換わります。

04 [MENU] : メニュー画面に入る

（⇒ 16、17、18）

05 [SETUP] : 設定画面に入る

06 [+VOL-] : 音量を調節する

- 音量の範囲：0（最小）～ 100（最大）

07 [MUTE] : 一時的に消音する

- もう一度押す / 本機の音量を調節する / 本機の電源を切 / 入すると解除されます。

08 再生操作ボタン

09 [FAV] : お気に入りの放送局や音楽（FM、Internet Radio、Podcasts など）を聴く

- 最大 9 つまでお気に入りの放送局や音楽を登録することができます。登録するには、合わせた放送局や音楽の再生中に [FAV] を押したままにしてください。その後、登録する番号を選び、[OK] を押すと登録できます。

10 [INFO] : 情報を表示する

- 再生状態の情報を表示します。押すごとに曲名、アーティスト名、アルバム名、ファイルの種類、サンプリング周波数、接続プロファイル、MQA® 音源のタイプなどが表示窓に表示されます。（入力ソースごとに表示される内容は変わります）
- 押したままにすると、「RE-MASTER」の設定の状態を表示します。

11 [▲ , ▼ , ◀ , ▶] [OK] : メニューや設定画面などで選んで決定する / 再生する曲を選ぶ

12 [RETURN] : 前の画面に戻る

13 [DIMMER] : 表示窓や本体イルミネーションなどの明るさを変える

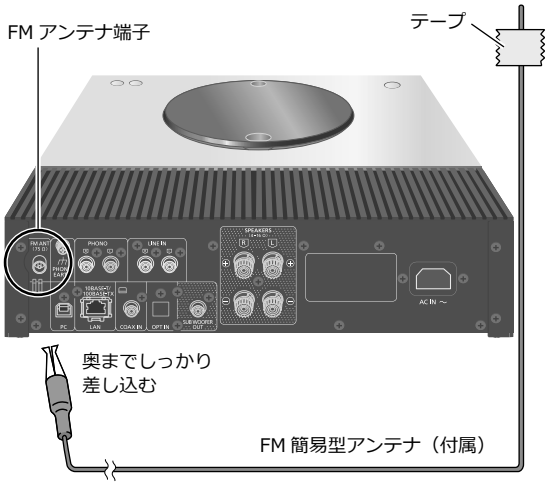
- 消灯にしているときは、本機を操作したときだけ、表示窓が数秒間点灯します。表示窓が消灯する前に「Display Off」が数秒間、表示されます。
- 押すたびに明るさが切り換わります。

14 [PGM] : プログラムプレイを入 / 切する

15 数字ボタン : 番号を選ぶ

- ２桁の番号を選ぶには [≧ 10] を押してから数字ボタンを押します。
  （例 :「12」は [≧ 10] → [1] → [2]）
- 4 桁の番号を選ぶには [≧ 10] を 3 回押してから数字ボタンを押します。
  （例 :「1234」は [≧ 10] → [≧ 10] → [≧ 10] → [1] → [2] → [3] → [4]）
- [CLEAR] : 入力した数値を取り消す

■FM 簡易型アンテナの接続



- 電源を入れてからラジオの周波数を合わせて（⇒ 17）、雑音の少ない位置でアンテナを壁や柱にテープで留めてください。
- 周辺の電子機器によって雑音が発生することがあります。

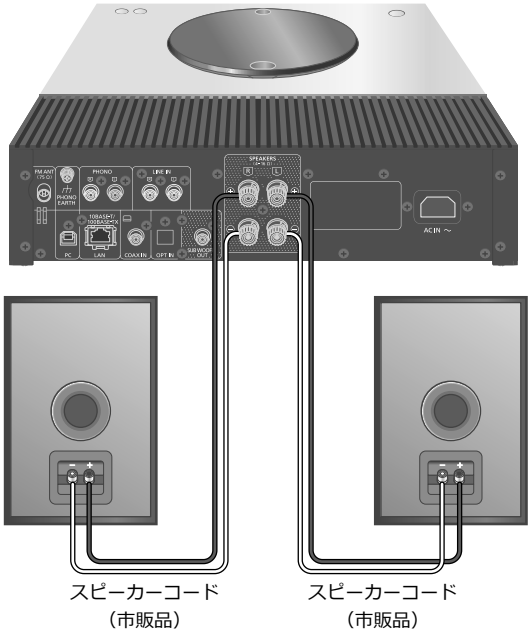
■アナログ出力機器を接続する

レコードプレーヤーを接続するときは、PHONO ケーブル（市販品）を PHONO 端子に接続し、PHONO アース線（市販品）を PHONO EARTH 端子に接続します。

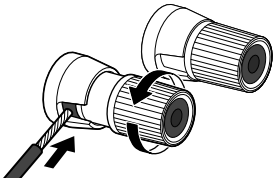
BD プレーヤーなどのアナログ出力機器を接続するときは、アナログ音声ケーブル（市販品）を LINE IN 端子に接続します。

- 再生する際は、[>SELECT<] を押して入力ソースを「PHONO」/「LINE」に切り換えます。（入力ソースを切り換えるときは、音量を絞ってください。）
- BD プレーヤーなどのアナログ出力機器を PHONO 端子に接続しないでください。

■スピーカーの接続

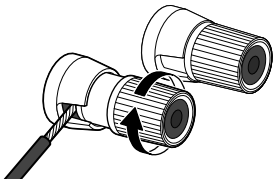


1



つまみを回して
ゆるめ、穴に芯線
を差し込む

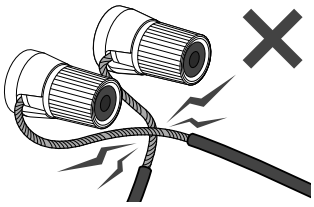
2



つまみを締める

お願い

- スピーカーコードの先端が端子に確実に接続されているか、コードを軽く引いて確認してください。
- スピーカーコードをショートさせないでください。アンプの回路が破損するおそれがあります。



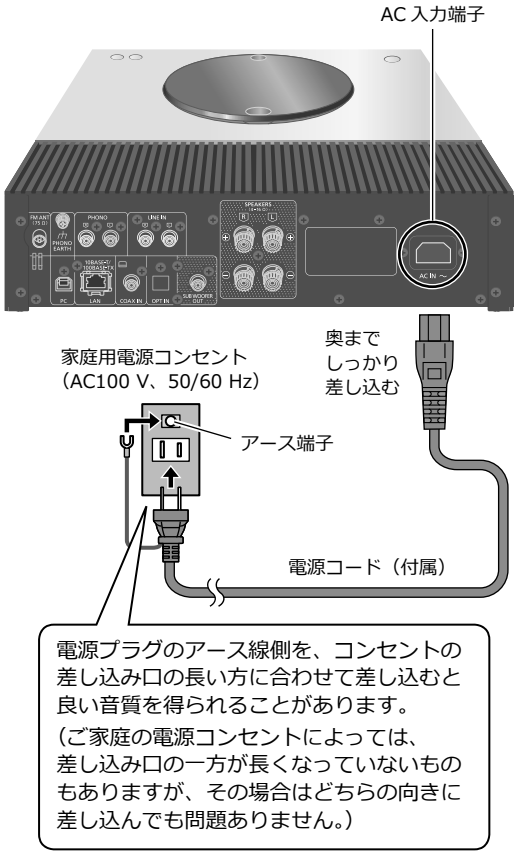
- 端子への接続は＋、－を正しく接続してください。間違って接続した場合、正常なステレオ効果を得られなかったり、故障の原因となることがあります。

お知らせ

- スピーカーに添付の取扱説明書をご覧ください。

■電源コードの接続

電源コードはすべての接続が終わった後、接続してください。



- 電源コードは、必ず付属のものをご使用ください。
- ケーブルを急な角度で折り曲げないでください。
- 電源を入れ、「Wi-Fi Setup」が表示された場合、無線 LAN 接続設定をしないときは「No」を選んで [OK] を押してください。無線 LAN 接続設定をするときは「Yes」を選んで [OK] を押してください。（⇒ 14）

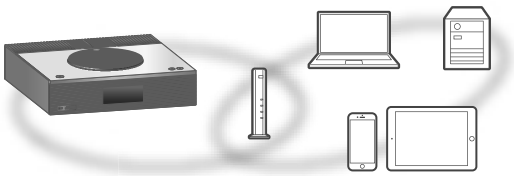
お願い

- 電源プラグがすぐに抜ける位置にあるコンセントをお使いください。
- アース線先端のキャップを外し、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前にアース接続を行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

お知らせ

- 本機が電源「切」状態でも、電源は完全には切れません。長期間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜いておくことをお勧めします。本機が電源「切」状態でも、電力を消費しています。（電源「切」時の消費電力 ⇒ 21）

本機をインターネットにつながったネットワークに接続することにより、音楽ストリーミングサービスやネットワーク機器にある音楽などを本機でお楽しみいただけます。



本機は、ブロードバンドルーターと有線 LAN または無線 LAN（Wi-Fi®）で接続することができます。
ネットワーク接続時の安定した再生のためには有線 LAN をお勧めします。

お知らせ

- 電源を入れた直後にネットワークの設定を行うと開始までに時間がかかることがあります。
- ネットワーク接続完了後、「Firmware update is available」と表示された場合、本機のファームウェアを更新することができます。
  - ファームウェアの更新内容については下記のサイトをご確認ください。
    jp.technics.com/support/firmware/
- 本機は、電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続するときは、必ずルーターなどを経由して接続してください。

■準備する

お使いのスマートフォンやタブレットに「Technics Audio Center」アプリをインストールして、接続設定ができます。

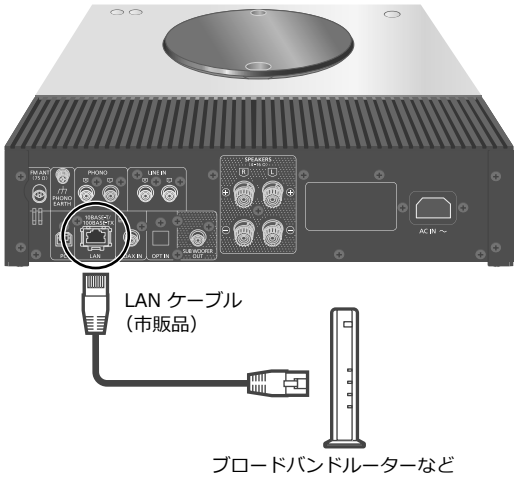
- Google Cast™ 対応アプリから本機で音楽を再生する場合、「Technics Audio Center」アプリから接続設定を行ってください。
- AirPlay の機能を使って本機で音楽を再生する場合、Apple Home アプリのホームに本機を追加してください。Apple Home アプリから接続設定をした場合、Siri を使用して音楽再生をすることもできます。
- お使いのスマートフォンやタブレットの Wi-Fi 機能と Bluetooth® 機能を「入」にしてください。

1 お使いのスマートフォンやタブレットに「Technics Audio Center」アプリをインストールする（⇒ 08）

2 本機を接続するネットワークに、あらかじめスマートフォンやタブレットを接続しておく

- インターネットにつながったネットワークに接続してください。

有線 LAN 接続



1 本機の電源コードを抜く

2 本機とブロードバンドルーターなどを LAN ケーブルで接続する

3 本機に電源コードを接続する（⇒ 13）

4 [⏻] を押して電源を入れる

- 表示窓に有線 LAN 接続を示す「 」が表示されます。

5 [>SELECT<] を押して入力ソースを「Google Cast」に切り換える

6 Technics Audio Center アプリを起動して画面の指示に従って操作する

お知らせ

- LAN ケーブルの抜き差しは電源コードを取り外した状態で行ってください。
- カテゴリ 7 LAN ケーブル STP ストレート結線（シールドタイプ）をお勧めします。
- LAN ケーブル以外（電話のモジュラーケーブルなど）を挿入しないでください。故障の原因になります。
- LAN ケーブルを接続して電源を切 / 入すると、Wi-Fi 接続が無効になる場合があります。
- 有線 LAN で公衆通信回線に接続する場合、電気通信事業法の認定を受けた端末設備（有線 LAN ルーター、回線端末装置）に接続してください。

無線 LAN 接続

■準備する

① 本機の電源コードを抜く

② LAN ケーブルを取り外す

③ 本機を無線ブロードバンドルーターのなるべく近くに置く

④ 本機に電源コードを接続する（⇒ 13）

お知らせ

- ネットワーク設定は、時間がかかると中止されることがあります。その場合、設定をやり直してください。
- 無線ネットワークの接続や設定操作を中止するには [■] を押すか、電源を切ってください。
- 本機は 2.4 GHz 帯と 5 GHz 帯の周波数帯で使用することができます。ネットワークへの接続は、802.11ac または 11n（2.4 GHz/5 GHz 同時使用可）のブロードバンドルーターの使用をお勧めします。
- 無線 LAN 接続が完了すると、表示窓に無線 LAN 接続を示す「 」が表示されます。

アプリを使って初めてネットワーク接続設定をする

1 [⏻] を押して電源を入れる

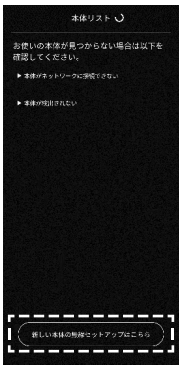
- 「Wi-Fi Setup」が表示されます。

2 [▲][▼] を押して「Yes」を選び、[OK] を押す

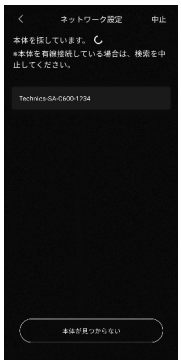
- 「Setting」が表示されます。

3「Technics Audio Center」アプリを起動する

4「新しい本体の無線セットアップはこちら」を選ぶ



5 本機を選び、画面の指示に従ってネットワークに接続する



お知らせ

- 本機の名前を設定していない場合、本機は「Technics-SA-C600-****」と表示されます。（「****」は機器に固有の文字を表しています）
- 「Technics Audio Center」アプリからネットワーク情報（SSID、MAC アドレス、IP アドレス）を確認することができます。
- Wi-Fi 機能の設定を途中で中止し、その後に本機の電源を切 / 入すると、再度「Wi-Fi Setup」が表示されます。設定を行うか、「Wi-Fi Menu」を「Off」に設定すると以降は表示されません。

無線セットアップを再設定する

1 [>SELECT<] を押して入力ソースを「Google Cast」に切り換える

2 [SETUP] を押す

3 [▲][▼] を押して「Network」を選び、[OK] を押す

- 「Wi-Fi Menu」画面が表示されたら、[OK] を押します。

4 [▲][▼] を押して「On」を選び、[OK] を押す（Wi-Fi メニューが有効になります）

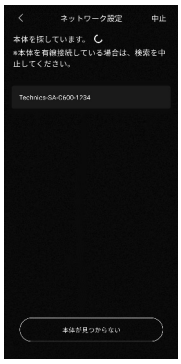
5 [▲][▼] を押して「Wi-Fi Setup」を選び、[OK] を押す

- 「Setting」が表示されます。

6「Technics Audio Center」アプリを起動する

7「新しい本体の無線セットアップはこちら」を選ぶ

8 本機を選び、画面の指示に従ってネットワークに接続する



お知らせ

- 本機の名前を設定していない場合、本機は「Technics-SA-C600-****」と表示されます。（「****」は機器に固有の文字を表しています）
- 「Technics Audio Center」アプリからネットワーク情報（SSID、MAC アドレス、IP アドレス）を確認することができます。

ネットワーク接続した機器の音楽を聴く

本機では Google Cast に対応したアプリをお使いいただけます。Google Cast に対応したアプリの情報については下記のサイトをご覧ください。

g.co/cast/apps

また、「Technics Audio Center」アプリ（無料）を使って、ネットワーク接続している機器にある音楽を本機で再生することもできます。「Technics Audio Center」アプリ（無料）のインストールについては下記をご覧ください。

jp.technics.com/support/

■準備する

- ネットワーク設定をする。（⇒ 13）
  （インターネットにつながったネットワークに接続してください）
- お使いの機器（スマートフォンやタブレットなど）に対応したアプリをインストールする。
- 接続する機器をご家庭でお使いのネットワークに接続する。

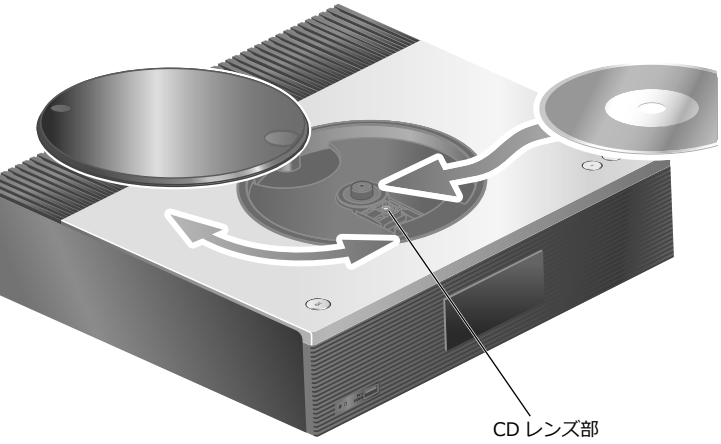
1 お使いの機器（スマートフォンやタブレットなど）から Google Cast 対応アプリ、または「Technics Audio Center」アプリ（無料）起動して本機を選択する

2 音楽を再生する

お知らせ

- 本機を操作する場合は、本機を見える位置で行ってください。

CD の音楽を再生する



1 [⏻] を押して電源を入れる

2 [CD] を押して入力ソースを「CD」に切り換える

3 トップカバーをスライドさせて開き、CD を入れる

- トップカバーは左右どちらにも開きます。
- ラベル面を上にして、カチッと音が鳴るまで CD 中央部を押します。

4 トップカバーをスライドさせて閉める

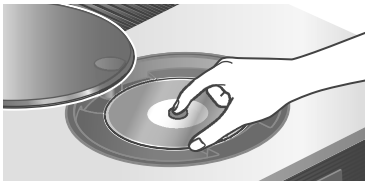
- トップカバーが開いたままでは再生できません。

5 [▶/❚❚] を押す

■CD を取り出す

① トップカバーをスライドさせて開く

② CD を取り出す



- CD がトップカバーに当たらないように取り出してください。
- CD の回転が停止してから取り出してください。

お願い

- 開閉の際は、指をはさまないようにご注意ください。
- トップカバーは強い力で開閉しないでください。故障の原因になります。
- トップカバーを開けたまま長時間放置しないでください。CD レンズの汚れの原因になります。
- CD レンズに触れないでください。

お知らせ

- CD 未装着時に以下の操作をすると、CD レンズ部が光りますが、故障ではありません。
  - 電源を入れたとき
  - 入力ソースを「CD」に切り換えたとき
  - トップカバーを開閉したとき

■リピートプレイ / ランダムリピートプレイ

① [MENU] を押す

② [▲][▼] を押して「Repeat」/「Random」を選び、[OK] を押す

③ [▲][▼] を押して項目を選び、[OK] を押す

- ランダム再生中は前の曲にスキップできません。

■プログラムプレイ

① 停止中に [PGM] を押す
- 「Program Mode」画面が表示されます。

② 追加したい曲の数字ボタンを押す
- 続けて選ぶときはこの手順を繰り返します。

③ [▶/❚❚] を押す

- プログラムプレイ停止中に、[◀][▶] を押すと、曲の順番を確認できます。
- プログラムプレイ停止中に、[CLEAR] を押すと、最後の 1 曲を取り消します。
- プログラムプレイ停止中に、[PGM] を押すと、プログラム内容は保持して通常の再生に戻ります。
- プログラムプレイ停止中に、[■] を押し「Yes」を選ぶと、プログラム内容を取り消して通常の再生に戻ります。

お知らせ

- CD を取り換えると、プログラム内容は取り消されます。
- ランダムリピートプレイを設定すると、プログラムプレイが解除されます。

■MQA 音源をデコードする

本機は MQA（Master Quality Authenticated）技術を搭載しており、MQA 音源を、スタジオのマスター・クオリティと同じ品質で再生することができます。また、本機は MQA CD の再生も可能です。内蔵された MQA デコーダーが折りたたまれて記録されているファイルを展開し、ハイレゾ音源として再生することができます。

- MQA 音源再生中は、表示窓に「MQA」と表示されます。MQA 音源再生中に [INFO] を押すと、MQA 音源のタイプ（MQA Studio 等）が表示されます。

放送局を記憶させて聴く

放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聴くことができます。15 局まで記憶することができます。

■自動でチャンネルに記憶させる（オートプリセットメモリー）

- 自動で各チャンネルに受信できる放送局を割り当てます。

1 [RADIO] を押して入力ソースを「FM」に切り換える

2 [MENU] を押す

3 [▲][▼] を押して「Auto Preset」を選び、[OK] を押す

4 [▲][▼] を押して項目を選び、[OK] を押す

Lowest ：
1 番低い周波数から割り当てます。

Current ：
現在、受信中の周波数から割り当てます。

- 周波数が動いて、現在受信できる放送局がチャンネルに記憶されます。
- 途中で止めるときは、[■] を押してください。
- お買い上げ時の設定は「Lowest」です。

■記憶させた放送局を聴く（プリセットチューニング）

1 [RADIO] を押して入力ソースを「FM」に切り換える

2 数字ボタンを押してチャンネルを選ぶ

- 選局モードが「Preset」の時は、[|◀◀][▶▶|] を押してチャンネルを選べます。

周波数を手動で合わせて聴く

放送局の周波数に手動で合わせて、放送を聴くことができます。（マニュアルチューニング）

1 [RADIO] を押して入力ソースを「FM」に切り換える

2 選局モードを「Manual」に切り換える

3 [|◀◀][▶▶|] を押して周波数を選ぶ

■自動選局するには（オートチューニング）

1 [RADIO] を押して入力ソースを「FM」に切り換える

2 選局モードを「Manual」に切り換える

3 周波数が動き始めるまで [|◀◀][▶▶|] を押したままにする
（放送を受信すると止まります。）

- お好みの放送局を受信するまで、同じ操作を繰り返します。
- 周囲に妨害電波があると、放送を受信しなくても周波数が止まることがあります。

選局モードを設定する「Tuning Mode」

[|◀◀][▶▶|] を押したときの選局を、マニュアルチューニング（「Manual」）にするか、プリセットチューニング（「Preset」）にするか、モードを選ぶことができます。

1 [RADIO] を押して入力ソースを「FM」に切り換える

2 [MENU] を押す

3 [▲][▼] を押して「Tuning Mode」を選び、[OK] を押す

4 [▲][▼] を押して項目を選び、[OK] を押す

Manual ：
放送局の周波数に手動で合わせます。

Preset ：
記憶させた放送局に合わせます。

Bluetooth® 機器の音楽を再生する

Bluetooth® 機器

登録・接続する

- 本機と Bluetooth® 機器の電源を入れ、機器を本機に近づける。
- Bluetooth® 機器の Bluetooth® 機能を有効にする。
- 本機と他の Bluetooth® 機器がすでに接続されている場合、その機器の接続を解除してください。

1 [ᛒ -PAIRING] を押して入力ソースを「Bluetooth」に切り換える

- 表示窓に「Pairing」と表示されたら、手順 5 へ進んでください。
- [ᛒ -PAIRING] を押したままにしても登録待機状態になります。手順 5 へ進んでください。

2 [MENU] を押す

3 [▲][▼] を押して「Pairing」を選び、[OK] を押す

4 [▲][▼] を押して「Yes」を選び、[OK] を押す

- 表示窓に「Pairing」と表示され、登録待機状態になります。

5 Bluetooth® 機器側で Bluetooth® の接続画面などを開き、「Technics-SA-C600-**」を選んで接続する**

- 接続された機器名が表示窓に表示されます。
- 「Technics-SA-C600-****」と表示される前に MAC アドレス「□□□□□□」(「□」は機器によって表示される固有の番号を表しています）が表示される場合があります。
- Google Home アプリから本機の名前を設定した場合は、設定した名前が表示されます。

お知らせ

- 入力ソースが「Bluetooth」のとき [ᛒ -PAIRING] を押したままにすることで、登録待機状態にすることもできます。
- パスキーの入力を要求された場合は「0000」（ゼロ 4 つ）を入力してください。
- 登録できる Bluetooth® 機器は最大 8 台です。最大登録数を超えて登録すると、Bluetooth® 接続した順番が古いものから上書きされるため、機器の登録が解除されることがあります。再度お使いいただくには、登録をやり直してください。

機器を再生する

1 [ᛒ -PAIRING] を押して入力ソースを「Bluetooth」に切り換える

- 表示窓に「Ready」または「Pairing」と表示されます。

2 Bluetooth® 機器側で Bluetooth® の接続画面などを開き、「Technics-SA-C600-**」を選んで接続する**

- 接続された機器名が表示窓に表示されます。
- Google Home アプリから本機の名前を設定した場合は、設定した名前が表示されます。

3 Bluetooth® 機器側を操作して音楽を再生する

お知らせ

- Bluetooth® 機器の詳細は、機器に付属の取扱説明書をお読みください。
- 同時に接続できる Bluetooth® 機器の台数は 1 台です。
- 入力ソースを「Bluetooth」に切り換えると、本機は最後に接続していた Bluetooth® 機器と接続しようとします。（このとき、表示窓に「Linking」と表示されます）

接続を解除する

1 [MENU] を押す

2 [▲][▼] を押して「Disconnect?」を選び、[OK] を押す

3 [▲][▼] を押して「Yes」を選び、[OK] を押す

お知らせ

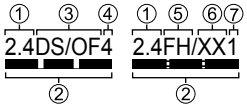
- 「Bluetooth」以外の入力ソースが選ばれると、Bluetooth® 機器の接続が解除されます。

■使用周波数帯

内蔵無線機器は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■周波数表示の見方

周波数表示は、定格銘板に記載しています。



① 2.4 GHz 帯を使用
② 2.400 GHz ～ 2.4835 GHz の全帯域を使用
③ 変調方式が DSSS と OFDM 方式
④ 電波与干渉距離 40 m 以下
⑤ 変調方式が FH-SS 方式
⑥ その他の方式
⑦ 電波与干渉距離 10 m 以下

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：**パナソニック**
ご相談窓口（⇒ 23）

■機器認定

内蔵無線機器は、電波法に基づく工事設計認証を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、内蔵無線機器に以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- 分解 / 改造する
- 定格銘板を消す / はがす
- 5 GHz 帯無線 LAN を使って屋外で通信を行う

■使用制限

内蔵無線機器の使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。

制限をお守りいただけなかった場合、および内蔵無線機器の使用また使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- **日本国内でのみ使用できます。**
- **利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。**
  無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク（SSID：ネットワークを識別するための名前）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
- **磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。**
  次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
  －電子レンジ
  －デジタルコードレス電話機
  －その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く（ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）
  －電波が反射しやすい金属物などの近く
- **電波によるデータの送受信は、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があり傍受される可能性があります。**
- すべての Bluetooth® 機器との無線通信を保証するものではありません。
- 無線通信する Bluetooth® 機器は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している機器であれば、一部動作する場合がありますが、機器の仕様や設定により、接続できないことがあり、操作方法・表示・動作を保証するものではありません。
- Bluetooth® 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時はご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■使用可能距離

見通し距離約 10 m 以内で使用してください。

間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。
- 無線 LAN を使用中に Bluetooth® 機器の音が途切れたり雑音が入る場合は、無線 LAN のご使用をお控えください。

■用途制限

内蔵無線機器は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途※での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

※ハイセイフティ用途：きわめて高度な安全性が要求され、直接生命・身体に重大な危険性を伴う用途のこと。
例：原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制 / 大量輸送システムにおける運航制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御、など

本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは一部記載していません。

“Wi-Fi CERTIFIED™” ロゴは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。

Works with Apple バッジの使用は、アクセサリがバッジに記載された技術で動作するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定されたことを示します。

Apple、AirPlay は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

本機は AirPlay 2 対応製品です。iOS 11.4 以降が必要です。

Google、Google Home、Google Cast は Google LLC の商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Media, Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。

本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配付は、Microsoft もしくは権限を有する Microsoft の子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。

Mac および OS X は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

DSD はソニー株式会社の登録商標です。

FLAC Decoder

Copyright (C) 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Spotify ソフトウエアは、以下に記載のサードパーティーソフトウエアを利用しています。

https://www.spotify.com/connect/third-partylicenses

QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

MQA and the Sound Wave Device are registered trade marks of MQA Limited © 2016

■総合

電源	AC 100 V、50/60 Hz	
消費電力	46 W	
電源切（スタンバイ）時の消費電力	Network Standby Off 時計表示なし	約 0.15 W
	Network Standby Off 時計表示あり	約 1.1 W
	Network Standby On 時計表示なし	約 2.0 W ※1
	Network Standby On 時計表示あり	約 2.6 W ※1
寸法（幅×高さ×奥行）		340 mm × 94 mm × 341 mm
質量		約 4.8 kg
許容動作温度		0 ℃～ 40 ℃
許容相対湿度		35 % ～ 80 % RH（結露なきこと）

※ 1 有線 LAN/ 無線 LAN 接続でネットワーク機能が有効

■アンプ部

定格出力		60 W + 60 W（1 kHz、T.H.D. 1.0%、4 Ω、20 kHz LPF、JEITA）
推奨負荷インピーダンス		4 Ω - 16 Ω
周波数特性	PHONO（MM）	20 Hz - 20 kHz（RIAA 偏差 ±1 dB、8 Ω）
	LINE	20 Hz - 40 kHz（-3 dB、8 Ω）
	DIGITAL	20 Hz - 80 kHz（-3 dB、8 Ω）
入力感度 / 入力インピーダンス	LINE	650 mV / 31 kΩ
	PHONO（MM）	6.5 mV / 47 kΩ

■チューナー部

FM	プリセットメモリー	15 局
	周波数帯域	76.0 MHz～108.0 MHz（100 kHz ステップ）
	アンテナ端子	75 Ω（不平衡型）

■CD 部

再生可能ディスク（8 cm または 12 cm）		CD、CD-R、CD-RW
ピックアップ	波長	790 nm（CD）
	レーザーパワー	CLASS 1
フォーマット		CD-DA

■Bluetooth® 部

バージョン	Bluetooth® Ver.4.2
送信出力	Class 2（2.5 mW）
対応プロファイル	A2DP、AVRCP
対応コーデック	AAC、SBC
通信方式	2.4 GHz Band FH-SS
見通し通信距離	約 10 m ※2

※ 2 温度 25 ℃、高さ 1 m、「Mode1」（通信の安定性を重視したモード）の条件で測定

■入出力端子部

ヘッドホン	ステレオ（Φ 3.5 mm）	
USB	フロント USB、タイプ A コネクタ	
	対応 USB メモリ容量	2 TB MAX
	最大フォルダ数（アルバム数）	800
	最大ファイル数（曲数）	8000
	ファイルシステム	FAT16、FAT32、NTFS
	USB ポート出力	DC OUT 5 V、0.5 A MAX
PC 入力	リア USB、タイプ B コネクタ	
イーサネットインターフェース	LAN（100BASE-TX、10BASE-T）	
アナログ入力	LINE（ピンジャック） PHONO（MM）（ピンジャック）	
アナログ出力	サブウーハー（ピンジャック）	
デジタル入力	光デジタル入力（光角型端子） 同軸デジタル入力（ピンジャック）	
	サポートフォーマット	LPCM

■USB 対応フォーマット

USB-A

USB 規格	USB2.0 High-speed USB Mass Storage class

USB-B

USB 規格	USB2.0 High-speed USB Audio Class 2.0、Asynchronous mode
DSD コントロールモード	ASIO Native mode、DoP mode

■Wi-Fi 部

規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac 準拠 従来の 11a（J52）のみの対応機器と接続できません。 ARIB STD-T71（5 GHz 帯）、 ARIB STD-T66（2.4 GHz 帯） （5 GHz は屋内使用限定）

セキュリティ	WPA2™、 Mixed mode WPA2™ / WPA™	
	暗号化方式	TKIP / AES
	認証方式	PSK

■再生フォーマット

本機は以下の再生フォーマットに対応しています。
- 本機では著作権保護された音楽ファイルは再生できません。
- 本機が対応している再生フォーマットでも再生できないことがあります。
- 本機が対応していない再生フォーマットを再生すると、音声が途切れたりノイズが出ることがあります。
  その場合は、本機が対応している再生フォーマットか確認してください。
- 本機は VBR（可変ビットレート）に対応していません。
- 接続している機器（サーバー）によっては本機が対応していないファイル形式を変換して出力できるものもあります。
  詳しくは、サーバーの取扱説明書をご確認ください。
- 本機と再生ソフトで、表示されるファイル情報（サンプリング周波数など）が異なる場合があります。
- 使用する PC やアプリなどによって、対応するサンプリング周波数でも再生されない場合があります。正しく再生できない場合は、PC やアプリなどの設定をご確認ください。

USB-A で音楽を再生する場合

ファイルの種類	拡張子	サンプリング周波数	ビットレート 量子化ビット数
MP3	.mp3	32、44.1、48 kHz	16 ～ 320 kbps
AAC	.m4a/.aac	32、44.1、48、88.2、96 kHz	16 ～ 320 kbps
WAV	.wav	32、44.1、48、88.2、96、176.4、192、352.8、384 kHz	16、24、32 bit
FLAC	.flac	32、44.1、48、88.2、96、176.4、192、352.8、384 kHz	16、24 bit
AIFF	.aiff	32、44.1、48、88.2、96、176.4、192、352.8、384 kHz	16、24、32 bit
ALAC	.m4a	32、44.1、48、88.2、96、176.4、192、352.8、384 kHz	16、24 bit
DSD	.dff/.dsf	2.8、5.6、11.2 MHz	

USB-B で音楽を再生する場合

ファイルの種類	サンプリング周波数	ビットレート 量子化ビット数
LPCM	32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 kHz	16、24 bit
DSD	2.8、5.6 MHz	

DMR で音楽を再生する場合※

ファイルの種類	拡張子	サンプリング周波数	ビットレート 量子化ビット数
MP3	.mp3	32、44.1、48 kHz	16 ～ 320 kbps
AAC	.m4a/.aac	32、44.1、48、88.2、96 kHz	16 ～ 320 kbps
WAV	.wav	32、44.1、48、88.2、96、176.4、192、352.8、384 kHz	16、24、32 bit
FLAC	.flac	32、44.1、48、88.2、96、176.4、192、352.8、384 kHz	16、24 bit
AIFF	.aiff	32、44.1、48、88.2、96、176.4、192、352.8、384 kHz	16、24、32 bit
ALAC	.m4a	32、44.1、48、88.2、96、176.4、192、352.8、384 kHz	16、24 bit
DSD	.dff/.dsf	2.8、5.6、11.2 MHz	

※ :ネットワーク経由で音楽ファイルを再生する場合、本機が対応しているフォーマットであっても再生できる音楽ファイルは、ネットワークサーバーに依存します。たとえば、Windows Media Player 11 をお使いの場合、PC に入っているすべての音楽ファイルを再生できるわけではなく、Windows Media Player 11 のライブラリに登録されている音楽ファイルのみを再生できます。

注 :上記の仕様は 2021 年 10 月現在の情報です。予告なく変更されることがあります。変更内容については、下記のサイトをご覧ください。
jp.technics.com/support/

使いかた・お手入れ・修理 などは

まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	（　　）　－
お買い上げ日	年　月　日

■修理を依頼されるときは

「取扱説明書　活用ガイド」（PDF 形式）（⇒ 04）の「故障かな !?」でご確認のあと、直らないときは、電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

製品名	ネットワーク CD レシーバー
品番	SA-C600
故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。
  保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 8 年

当社は、このネットワーク CD レシーバーの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご相談窓口

使い方・お手入れなどのご相談

よくあるご質問（FAQ）やチャットなどでご確認、ご相談できます。

https://panasonic.jp/support/

AIオペレーターによる対応はこちら(24時間365日受付)　0120-878-982

有人対応の受付時間 9:00～18:00 月～土曜日(祝日・正月三が日を除く)

・固定電話をご利用の方はこちら　0120-878-982

・上記番号がご利用いただけない場合はこちら　0570-087-982 (有料)

FAXフリーダイヤル:　0120-878-236

電話番号・受付時間は予告なく変更する場合があります。
最新情報は上記QRコードから確認できます。

修理に関するご相談

修理のご相談・お申込みができます。
【オンライン24時間365日受付】

https://panasonic.jp/support/repair.html

フリーダイヤル 0120-878-554　左記電話番号がご利用いただけない場合は　03-6633-6700

受付時間 9:00～18:00（一部地域を除く）

・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。（パケット定額サービス未加入の場合、高額になる可能性があります）
・ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
・上記のURLはお使いの携帯電話などにより、正しく表示されない場合があります。
・受付時間などの最新情報はWebサイトをご確認ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理
登録商品のサポートも充実

詳しくはこちら
https://club.panasonic.jp/aiyo/

● 保証書用封筒に記載されているQRコードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます

QRコード　SAMPLE

パナソニック株式会社

〒570-0021　大阪府守口市八雲東町 1 丁目 10 番 12 号
© Panasonic Corporation 2021 - 2026

DVQX2834YA/X1
M1021YY4016